



山端博 (かけはし)

みち銀旧稲生町支店

活用の検討は

今年中に活用方針を決める

議員 寄附を受けたみ

ちのく銀行旧稲生町支店跡地の中心市街地活性化に向けた具体的な活用の検討は進んでいるのか。

市長 今後、市民を対象に意見交換会を開催し、活用に関するアイデアや今後のまちづくりに対する意見を伺う予定です。また公募を含む検討委員会を設置し、九月を目途に活用方法を取りまとめ、十二月末までに活用方針を決定したいと考えています。これらを踏まえ、平成三十年三月までに次期中心市街地活性化基本計画素案を策定したいと考えています。



みち銀旧稲生町支店前

議員 若葉公園西側市有地に(仮称)屋内グラウンドを建設する予定となっているが、駐車場対策は。

教育部長 予定地内のほか、公園との間にある市道や北側の医師住宅、公園北側の防風林なども視野に入れ、十分な広さが確保できるよう検討したいと考えています。

議員 中心市街地への回遊性を向上させるために、旧国道四号と大学通りが交わる交差点の渋滞緩和策の検討を要望する。

議員 中央病院の昨年度の決算見込みは。

病院事務局長 約八億九

千九百万円、現金ベースでは約三億五千二百万円の赤字となり不良債務も発生する見込みです。一般病床の利用率は七〇・二%で一日平均入院患者数は二百二十八人でした。要因は、医師数の減少が大きく影響していると考えられます。

議員 今年度の見通しと四、五月の状況は。

病院事務局長 今年度は一日平均入院患者数二百六十人、病床利用率八〇%とし、医療機器の購入等の費用を抑え現金ベースでの黒字予算としています。現在の病床利用率の状況は、四月は七二・二%でしたが五月は八〇・七%となり、目標を達成できたことは好材料と考えています。第一四半期の収支状況をもとに今後の見通しを立てたいと考えています。

種子法廃止による 当市農業への影響は

当面は従来どおりの体制で 推移すると考える



久慈年和 (市民連合クラブ)

ていますが、種子の国内自給の確保や食料安全保障が脅かされないように附帯決議が付されています。県では、特に米の品種開発については、今後も継続する意向があるため、当面は従来どおりの体制で推移すると考えています。

議員 種子法の廃止は、当市の食と農の推進条例で掲げている「安全で安心な農産物等の安定的な生産及び供給に関すること」に反しないか。

農林部長 附帯決議には、「主要農作物種子が引き続き国外へ流出することなく、適正な価格で国内生産されるよう努める」とあり、直ちに条例に反するという状況には至っていないと考えています。

議員 都道府県による米等の優良品種の開発を奨励し、食糧供給と農業者所得の安定を図っていた「主要農作物種子法」廃止による、市農業への影響は。

市長 種子法の廃止には、多くの不安が指摘され

議員 広報六月号に、「ごみ排出量を一人一日当たり百グラム減らすと年間約七千万円の処理費用削減につながる」とあるが、その算定根拠は。

民生部長 十和田地域広域事務組合で公表して



リサイクル推進で、ごみ減量化を

議員 ごみの減量化推進のため、資源集団回収による奨励金を一キログラム当たり三元から五円に上げるべきだと考えるが、市の考えは。

民生部長 他市町村では、奨励金の増額で回収量の増加につながった事例もあるので、今後調査研究したいと考えています。